

みずほっと



ほっとくん



特集

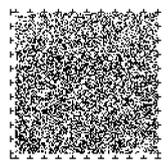
支えあい・助け合い・困ったときは「お互いさま」 地域支えあい事業

トピックス

- 学区探訪 vol.12 御劔学区 ●進んでいます!第5次瑞穂区地域福祉活動計画みずほっとプラン
- こんにちは♪いきいき支援センターです!! ●HOTなきもち ●ほっとなつぶやし

■編集・発行/社会福祉法人 名古屋市瑞穂区社会福祉協議会 ■ウェブサイト/ <http://www.mizuho-shakyo.jp>

高齢者や目の不自由な方にも専用のアプリで読み取ると本紙の内容を「音声で聞く」ことができる Uni-Voice コードを載せました。お問い合わせは瑞穂区社会福祉協議会までご連絡ください。



Uni-Voice コード

支えあい・助け合い・困ったときは「お互いさま」

地域支えあい事業

ご高齢の方などのちょっとした生活の困り事をご近所の方のボランティア活動によって解決するしくみです。

住み慣れた地域でいつまでもいきいきと暮らし続けるためには、地域住民による支えあいや助け合いの活動が大きな役割を果たします。

名古屋市内では身近な地域における相談の受付や担い手の養成など、支えあいのしくみづくりを行う「**地域支えあい事業**」を実施する地域が広がっています。

地域住民と専門職などが地域の福祉課題の解決に向けて共に連携して地域の福祉力を高めていくことを目的としています。

御劔学区

みつるぎ支援隊

御劔学区では平成23年度より「みつるぎ支援隊」が発足しました。ひとり暮らしの高齢者や障がい者世帯の困りごと（買い物、ゴミ出し、小修繕など）の相談を受けています。

「困ったことはとにかく相談」「素早く対応」「口コミが第一」を活動の柱とし、今後も困っていても声を上げにくい方々のために、住民同士が声を掛け合いながら支援の輪を学区全体に広げていくことを目指しています。

年々高齢化が進むなかで、これからも「みつるぎ支援隊」は必要な活動だと思っています。



▲庭木の枝切りの様子



高田学区

高田学区地域支えあい事業

高田学区では平成23年度より地域支えあい事業を開始しました。ボランティアコーディネーターが毎月曜日と金曜日の午後、高田コミセンにてちょっとした困りごとの相談の受付を行っています。依頼の内容には、草取り、草木の剪定、ゴミ出し、買い物などがあり、学区のボランティアが支援を行っています。

一人暮らし高齢者が集まる「ふれあい給食会」にてチラシやウエットティッシュを配布し、支えあい事業のPRにも努めています。「助けあう高田」を合い言葉に、安心して暮らせるまちづくりをめざして活動しています。

依頼者からの「ありがとう」「助かります」などの感謝の言葉が活動の励みになっています。



▲おそろいのベストを着用して草取りの活動



Point!

地域支えあい事業とは？

1 身近な相談窓口

地域の方の困りごとの相談を受ける窓口を学区ごとに設置しています。窓口では「ご近所ボランティアコーディネーター」が相談を伺い、ボランティアとの調整を行います。

2 ボランティアがちょっとした困りごとをお手伝い

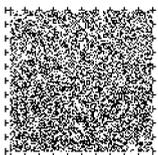
学区内の活動可能なボランティアが困りごとの解決に取り組みます。ボランティアや学区だけで解決できないときは、社会福祉協議会やいきいき支援センターなどに相談をつなぎます。

3 活動したポイントは学区に還元

活動に参加したボランティアにはボランティアポイントが付与されます。このポイントは翌年度に学区に還元され、活動資金として役立てられます。

4 地域の課題解決

活動を通して出た地域課題については、関係者や専門職が参加する地域支えあい事業活動連絡会議で話し合いを行います。



堀田学区

堀田支えたい!

堀田学区では、平成26年度より「堀田支えたい!」を実施しています。学区のボランティアが、学区にお住まいの高齢者や身体に障がいのある方のちょっとした困りごとをお手伝いしています。ゴミ出し・粗大ごみの搬出など、ちょっとしたお話の傾聴の依頼なども行っています。

なお、活動するには事前に依頼者の方と直接お会いし、ご本人のお話を伺う時間を大切にしています。こうした時間を持つことで、活動を通じて地域とつながるきっかけになっている方もいらっしゃいます。

▼庭木の剪定活動後



「堀田支えたい!」の受付を担当しております。ボランティア活動者は、「one for all(一人は皆の為に)・all for one(皆は一人の為に)」をモットーに全員でスクラムを組んで取り組んでいます。



▲ゴミの運搬



穂波学区

“気にかける”から始まる支えあいの輪

穂波学区では、地域福祉推進協議会の取り組みとして、10年以上前から「地域支えあいマップづくり」を進めています。この活動は、町内で支援が必要と思われる方を「気になる方」として地図に記し、誰が見守り、どのように支えあっているのかを共有する取り組みです。

マップづくりには、町内の状況をよく知る町内会役員、担当民生委員、近隣の見守り協力者が参加し、地域の課題や支援の方法について具体的な意見を交わしながら進めています。

また穂波学区ではサロン活動も大変盛んで、こうした“つどいの場”で寄せられる日常の声から、地域の困りごとを把握し、マップづくりやサロン活動で得られた情報や住民同士のつながりを活かし、個別支援にも取り組んでいます。

▼ふれあい・いきいきサロンの様子



▲地域支えあいマップづくりの様子

井戸田学区

井戸田ささえ隊

井戸田学区では、令和2年度より「井戸田ささえ隊」を実施し、学区にお住まいのひとり暮らしの高齢者や障がいのある方などのちょっとした困りごとの相談受付を行っています。

おもな依頼としては、ゴミ出し、小範囲の庭木の枝切りなどが多く、作業には可能な範囲で依頼者ご本人にも加わっていただきながら活動をしています。

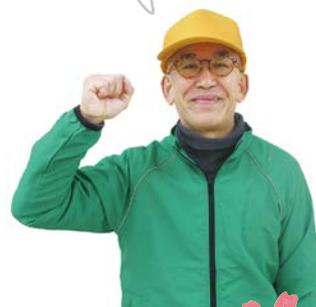
なお、町内で解決できない依頼については、近接する町内および学区にも協力を呼びかけ助け合いながら解決しています。

▶庭木の枝切り



家のまわりを掃除するときに周辺も一緒にきれいにしています。特別な事をしている訳ではありませんが、気持ちよく暮らせる環境づくりのためにできる範囲で続けています。

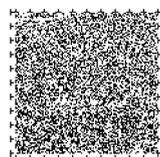
◀小範囲の草取り



瑞穂区では現在下記の学区で地域支えあい事業を実施しています

学区	相談窓口	受付日時	連絡先
御 劔	御劔コミュニティセンター	火・金 9:00～12:00	871-1200
高 田	高田コミュニティセンター	月・金 14:00～16:00	080-9722-4383
堀 田	堀田コミュニティセンター	月・水 9:00～12:00	080-9494-2973
穂 波	穂波コミュニティセンター	火・金 9:30～12:00	823-5181
井戸田	井戸田コミュニティセンター	月・木 9:00～12:00	841-6665

※ボランティアが対応しますので、ご依頼内容によっては、他事業におつなざる場合やお引き受けできない場合があります。 ※相談は無料ですが、活動にかかる経費を負担いただく場合があります。 ※上記以外の学区は地域支えあい事業に対応していません。お困りの場合は社会福祉協議会にご相談ください。



学区探訪

Vol. 12

御劔学区



～季節のお弁当とともに、笑顔と会話で花咲く～

御劔学区では、一人暮らしの65歳以上の高齢者を対象に、地域のつながり作りや外出の機会づくり等のため、民生委員や女性会の方々を中心となり、年7回の給食会を開催しています。

給食会では、季節にちなんだお弁当が提供され、地域の企業の方々による音楽の生演奏も催される事もあります。また、お誕生日の方には鉢植えのお花のプレゼントが用意され、参加者の方々からは「季節を感じられるお弁当が楽しみ」「毎回この会を楽しみにしている」といった声が聞かれ、参加者だけでなく、ボランティアの皆さんにとっても貴重な交流の場となっています。

御劔学区地域福祉推進協議会の菅沼会長は、「いつも皆さんが楽しんでいる姿を思い描きながら、企画しています」とお話しされました。

季節を感じる献立



お誕生日を祝う、お花のプレゼント



おいしい食事に自然と笑顔に

進んでいます!

あなたとわたしが 支えあうまち 瑞穂 /

第5次瑞穂区地域福祉活動計画

みんながずっとホッとできる

みずほっとプラン 2024-2028

地域福祉活動計画とは

社会福祉法において、「地域住民、地域において社会福祉に関する活動を行う者、社会福祉を目的とする事業（福祉サービス）を経営する者が相互協力して策定する地域福祉の推進を目的とした民間の活動・行動計画」と定義されています。

5か年の計画として、地域の方々、ボランティアの方々、福祉関係者の方々、企業の方々とともに策定し、地域福祉を進めていくものです。

第1グループ

町のお元気応援部会 活動紹介!

今回は第5次瑞穂区地域福祉活動計画の「町のお元気応援部会」の活動について紹介します。

この部会では、活動計画の目標1「誰もが役割と生きがいを持ち続け、人や社会とつながり続ける」を目標に、3つの方向性、5つの事業に取り組んでいます。

おもな取組事項

方向性 ① 「町内単位の地域福祉活動の推進」

より身近な生活範囲である町内単位の福祉活動を進めていきます。令和7年2月に開催された地域福祉推進協議会研修にて、穂波学区の地域福祉推進協議会の実践報告を行いました。支えあいマップづくりや町内会による見守りの活動の発表があり、町内単位の福祉活動の必要性を共有することができました。

方向性 ③ 「外出できる環境づくり」

「おでかけ応援ボランティアの拡充」に取り組んでいます。外出に困難な方を支援するボランティア活動である「おでかけ応援ボランティア」についてのニーズ調査を行い、拡充につなげます。また「移動サービスの実施」では、通所事業所と連携して、外出するのが困難になった方々の外出の支援を実施していきます。令和7年12月には、「なごやかハウス岳見」の車両を利用し、おでかけ応援ボランティアの利用者を対象に、イオンモール新瑞穂で開催されたポッチャのイベントへの送迎を実施しました。参加された方々はポッチャや買い物を楽しまれました。



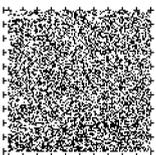
▲おでかけ応援ボランティア活動の様子



▲地域福祉推進協議会研修での発表の様子



▲イベント参加を応援



今回は、第2グループ「つなげよう和く輪く部会」の取り組みについて紹介する予定です。

こんにちは♪ いきいき支援センターです!!

その
1

家族サロンの一部をご紹介 映画「折り梅」上映会!!

いきいき支援センターでは、認知症の人を介護しているご家族が、不安や悩みを自由に話し合える場として毎月1回、家族サロンを開催しています。

11月開催の家族サロンでは、11月11日の「介護の日」にちなんで、アルツハイマー型認知症になった義母とその家族の葛藤を描いた映画「折り梅」を上映いたしました。鑑賞後は気づきの多い時間となり、とても好評でした。



その
2

高齢者の暮らしの情報(通所編)のご紹介!

瑞穂区の通所サービスについて、概要を分かりやすくまとめています。どのようなサービスがあるのか、気になったことはありませんか? 分類ごとに記載していますので、ご利用の検討やご相談の際にご活用いただけましたら幸いです。



令和8年度 上半期(令和8年4月~9月)「認知症の人を介護する家族支援事業」のご案内

1 認知症家族教室(4月~8月)

対象：認知症の人を介護しているご家族

認知症の人を介護しているご家族は、いろいろと不安に感じたり悩んだりされることと思います。この教室では、認知症の知識を深め、介護者同士の交流とおして、一人で悩まず介護できるようにお手伝いいたします。

東部	西部
第2金曜日	第3火曜日
10時00分~ 12時00分 ※5月は13時30分~ 15時30分	13時30分~ 15時30分

2 家族サロン

対象：認知症の人を介護しているご家族・介護経験のある方

認知症の人を介護しているご家族が、不安や悩み(たまにはグチも…)を自由に話し合える場です。介護や生活の情報を交換して、少しホッとしていただけようお手伝いいたします。

東部	西部
第1水曜日	第4木曜日
13時30分~ 15時30分 ※5月は第2水曜日	13時30分~ 15時30分

3 もの忘れ相談医による専門相談

対象：もの忘れのことで不安のある方・ご家族

もの忘れ相談医とは、認知症診断の知識・技術、ご家族からの悩み等の相談に応じるための研修を修了している、地域の専門医師のことで。その医師と認知症の症状や治療について気軽に個別相談できる場です。

東部	西部
第2木曜日	第4水曜日
13時30分~ 15時00分	13時30分~ 15時00分 ※9月は第5水曜日

お問い合わせ先・申込先

●瑞穂区東部いきいき支援センター
電話 858-4008 FAX 842-8122

●瑞穂区東部いきいき支援センター分室
電話 851-0400 FAX 851-0410

担当地域 豊岡・中根・弥富・陽明・汐路小学校区

●瑞穂区西部いきいき支援センター 電話 872-1705 FAX 872-1707

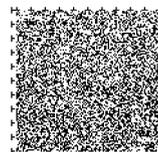
担当地域 御劔・高田・堀田・穂波・井戸田・瑞穂小学校区



公式 LINE



ホームページ





赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金にご協力いただき、ありがとうございました!

令和7年度 最終実績額 **6,151,318円**

一般募金 …………… 5,882,272円
歳末たすけあい募金 …… 269,046円

集まった募金は約**70%**が瑞穂区、約**30%**が愛知県の福祉活動に活用されます



NEW

瑞穂区共同募金委員会特製のオリジナルコラボ缶バッジを制作!

地域の福祉や子ども・高齢者の支援など、さまざまな活動に使われている赤い羽根共同募金。今年度、募金活動をより身近に感じてもらうことを目的に、「名古屋グランパスエイト」の公式マスコット・グランパスくんや、瑞穂区役所マスコットキャラクターのみずほっぺが登場するオリジナルコラボグッズを制作しました。

制作したグッズは、イベントでの募金や、募金にご協力いただいた皆さまにお渡ししました。グランパスくんやみずほっぺが赤い羽根を応援する姿を通じて、赤い羽根共同募金の取り組みをより多くの方に知っていただき、地域に支えあいの輪が広がるきっかけになればと願っています。

地域の誰もが安心して暮らせるまちづくりのため、皆さまの温かいご支援をどうぞよろしくお願いいたします。



スマホからも、募金できます。



赤い羽根共同募金の詳しい使い道は、赤い羽根データベース「はねっと」で確認いただけます。

はねっと二次元コード

NEW

PayPay 募金ができるようになりました!

今年度新たにPayPayで募金ができるようになりました。社会福祉協議会の窓口で年間を通して受付できますので、ぜひご協力をお願いいたします。



HOT なきもち

本会にご寄付いただき、ありがとうございました。

(令和7年6月~令和7年11月)
※順不同

寄付金 ● 福島佐千男 様 ● 匿名 1件

※お寄せいただいた寄付金は本会地域福祉基金等として受け入れ、その果実(利息)により、各種社会福祉事業の実施等、地域福祉の推進に活用させていただいております。

寄付物品 ● 食料品、衣類、紙おむつ、タオル、布、糸糸等を多数の方からご寄付いただきました。

※寄付物品につきましては、本会事業に活用させていただきます。

ほっとなつぶやき

編集後記

今号特集の名古屋市地域支えあい事業は、地域の福祉ニーズや個々の困り事を地域の助け合いで解決することを目的としています。直近データでは全市相談4,108件のうち生活支援が3,583件、ボランティアによる解決が3,348件と約8割が地域のボランティアで解決されていることがわかります。

一方で地域だけでは解決が難しい事例には、確実に適切な支援につながるよう私たち社協が責任を持ってフォローしていく必要があると強く感じています。(丹下)

編集発行

社会福祉法人
名古屋市瑞穂区社会福祉協議会
〒467-0016 名古屋市瑞穂区佐渡町3丁目18番地

電話

(052)841-4063

FAX

(052)841-4080

webサイト

<http://www.mizuho-shakyo.jp>

メールアドレス

mail@mizuho-shakyo.jp



最寄駅

地下鉄 桜通線瑞穂区役所駅
下車260m(区役所東方面)

